

令和 5年 6月21日

盛岡広域振興局長

提出者 国立大学法人岩手大学
 住所 〒020-8550
 岩手県盛岡市上田三丁目18-8
 氏名 学長 小川 智

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

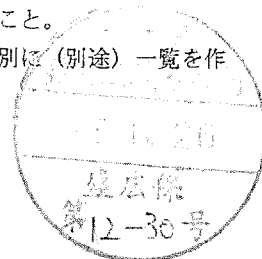
主たる工場又は事業場の名称	国立大学法人岩手大学	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市上田三丁目18-8	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	4,300 kJ	* 施設番号	
自動車の使用台数	50 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
上田団地	〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8	3,773 kJ
加賀野団地	〒020-0807 盛岡市加賀野二丁目6-1	242 kJ
東安庭団地	〒020-0824 盛岡市東安庭三丁目4-20	59 kJ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別紙（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況			
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)	
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ				
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ				
揮発油	30 kℓ	27	2.32 t-CO ₂ /kℓ	69.6	72.0	▲ 3	
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ				
灯油	68 kℓ	64	2.49 t-CO ₂ /kℓ	169.3	194.2	▲ 13	
軽油	32 kℓ	31	2.58 t-CO ₂ /kℓ	82.6	92.9	▲ 11	
A重油	93 kℓ	94	2.71 t-CO ₂ /kℓ	252.0	303.5	▲ 17	
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ				
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t				
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t				
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	3 t	4	3.00 t-CO ₂ /t	9.0	9.0	0
	石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³			
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO ₂ /t			
	その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³			
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t			
	一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t			
	無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t			
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t				
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t				
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³				
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³				
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³				
その他の燃料	都市ガス	732 千m ³	850	2.21 t-CO ₂ /千m ³	1617.7	1759.2	▲ 8
	()	()		t-CO ₂ /()			
	()	()		t-CO ₂ /()			
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
小計			1070		2200.2	2430.8	▲ 9
電気事業者	昼間買電	8540 千kWh	2197	0.488 t-CO ₂ /千kWh	4167.5	3969.5	5
	夏期・冬期における電気需要平準時間帯	5161 千kWh	1328				
	夜間買電	4315 千kWh	1033	0.488 t-CO ₂ /千kWh	2105.7	1992.1	6
	その他	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
自家発電	千kWh						
小計		12855 千kWh	3230		6273.2	5961.6	5
合計			4300		8473.4	8392.4	1
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh	0	t-CO ₂ /千kWh			
合計			4300				

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

大学全体のCO2排出量を前年度比(2021年度)で1%削減する目標に対し、1%増加した。

【具体的な取組状況】

- ① 光熱水量(電気・水道・ガス等)の使用量を学内電子掲示板に掲示。
- ② 空調機の使用は必要最低限とし、室温設定(冷房時28℃、暖房時は19℃)の最適化。
- ③ 昼休み時及び不要箇所の照明器具消灯。
- ④ パソコンの省電力設定。
- ⑤ シーズン前に空調機のフィルター清掃。
- ⑥ 建物改修時、サッシ等へのペアガラス使用、照明器具のLED化・センサー制御の導入。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ① ゴミの分別回収を徹底。
- ② 会議等でのペーパーレス化・コピーの裏紙使用による紙使用量の削減。
- ③ 節水型水道設備の設置。

別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
			排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	40 (5)	28,624 ℓ	2.32 kg-CO ₂ /ℓ	66,407.7 kg-CO ₂	
軽油	10 ()	3,535 ℓ	2.58 kg-CO ₂ /ℓ	9,120.3 kg-CO ₂	
LPG	()	kg	3.00 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	()	kWh	0.488 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	50 (5)			75,528.0 kg-CO ₂	

- 備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】
 大学全体のCO2排出量を前年度比(2021年度)で1%削減する目標に対し、1%増加した。

【具体的な取組状況】
 コロナ過による外出抑制の影響。
 アイドリングストップの実施、急発進及び急加速をしない等のエコドライブ。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項